

委員会だより



▲震災で外壁がはがれた白石城

総務・教育委員会

委員長 辻 弘之

当委員会では、昨年11月に消防広域化や人口動態に対応した行政経営、学力向上策など、直近の行政課題として挙がっている事案を中心に行政視察を行いました。また、東日本震災で被災した姉妹都市・宮城県白石市も訪問し、当市民から寄せられた復興支援がしっかりと届いていることを確認するとともに、風間市長をはじめ白石市民の皆さまから、当市民への感謝の思いを預かってきました。また、外壁のはがれなどの被害を受けた白石城について、文化財登録されていない関係から国の補助制度も無く、改修に向けた息の長い支援の依頼を市民の皆さまに伝えていたきたいとお願ひされました。

当委員会の活動項目である防災体制の検証については、市からの情報提供を受けるだけでなく、市内学校の避難訓練や震災対応市民連絡会議の傍聴、大雨時における排水設備のメカニズムを調査するなど、より詳細に防災体制見直しの進行状況を確認するとともに、市担当部局への質疑を続けていきます。

さらに、驚別小学校建て替えに関する行政提案の過程も注視してまいりますので、ご意見をお寄せください。2月に開催される「議会フォーラム」で委員会活動の報告を予定していますので、ぜひご参加ください。

生活・福祉委員会

委員長 沼田 一夫

当委員会では、昨年10月に当市における福祉施策の現状を認識するため、障害者福祉関係団体連絡協議会との懇談を行い、それぞれの現状や課題について意見交換を行いました。また、当市で策定中の「登別市福祉のまちづくり条例および地域福祉計画」を踏まえ、すでに計画・実施している先進地の地域福祉計画の策定状況や、各福祉施策の取り組みをテーマとして、10月25日から4日間にわたり、東京都日の出町、神奈川県鎌倉市・三浦市・南足柄市・海老名市の1町4市を視察しました。

日の出町では、①お年寄りにやさしい福祉施策、②青少年育成支援金制度、③こども・青少年の医療費助成制度について、鎌倉市では、地域福祉計画・障害者福祉計画について、三浦市では、福祉のまちづくり特定事業計画・地域福祉計画について、南足柄市では、地域福祉計画・高齢者福祉計画について、海老名市では、地域福祉計画について、それぞれ視察研修しました。

取り組みの内容はそれぞれ異なりますが、いずれの自治体も福祉の充実を目指していることがうかがわれます。また、それを具現化するには、地域住民の理解が不可欠であり、地域福祉の担い手育成が必要と感じました。



▲昨年寄贈したポニーの飼育状況を視察（海老名市）

観光・経済委員会

委員長 松山 哲男

地域経済活性化に向け、商工会議所や建設協会、旅館組合、技能協会、漁業協同組合などと、問題・課題などの意見交換を行い、それらを整理し関係団体や行政への提言作成に取り組んでいます。

また、大きく変化している時代背景を考えると、今後の市内経済のあり方や構想などを策定する必要があり、それらを協議する場や行政・経済界の責務などを盛り込む、仮称「登別中小企業振興基本条例」制定に向け、商工会議所や中小企業家同友会有志の方々との連携した勉強会を始めています。昨年10月には、釧路市の条例制定に携わった経営者による「なぜ中小企業振興基本条例が必要なのか」をテーマとした勉強会に参加しました。

11月には帯広市で、行政担当者や地元経済人から、条例制定までの歩みや産業振興への取り組み、条例制定後の取り組みと今後の課題について伺いました。

両市から、行政と経済界の連携の必要性、地域特性を把握した条例の理念と条文、各種データの分析による具体的展望など多くの示唆を受け、条例制定の過程の対応方にも参考となるものでした。

このような委員会活動のさなか、10月に4日間にわたり、観光と一次産業の結びつきを推進する熊本県上天草市、市民や団体などと連携し誘客策の温泉療養保健システムを推進する大分県竹田市、温泉施設を利用し、市民と観光客の健康と保養などに取り組む大分県由布市を視察しました。各市の地元特性を生かした取り組みは、考えさせられる事例でした。

各委員会の視察報告書は市議会ホームページに掲載しています。

登別市議会 検索